

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

	項目	目的	例
1	健康な心と体	園の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる	<p>「全身を動かす様々な遊びに挑戦し、目標に向かってやり遂げようとする」</p> <p>「手洗い・着脱・排泄などの生活習慣が身につき、見通しをもって過ごす」</p> <p>「危険なことを理解し、安全に行動しようとする」</p>
2	自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる	<p>「身近な素材や道具を使って考えたり工夫したりして遊び、試行錯誤しながら最後までやり遂げる」</p> <p>「困った時は保育者や友達に助けを求めながら、自分で解決しようとする」</p> <p>「生活の流れや周りの状況に応じてやるべきことがわかる」</p>
3	協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる	<p>「運動会など同じ目標に向かって、友達と協力しながら準備や練習に取り組む」</p> <p>「友達と生活する中で、クラスの一員であることに喜びを感じる」</p>
4	道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる	<p>「散歩や課外活動を通して社会のルールを理解し守ろうとする」</p> <p>「自分の意見を伝えたり、友達の意見を受け入れたりしながら、仲良く遊ぼうとする」</p> <p>「年下の園児との関わりの中で、優しく接したり思いやったりする」</p> <p>「身の回りのものやみんなのものを大切にしようとする」</p>
5	社会生活との関わり	<p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる</p> <p>また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる</p>	<p>「課外活動や行事を通して地域の人たちに親しみを持って接する」</p> <p>「お祭りや花火大会など、園外で体験したことを題材に工夫して遊びこむ」</p> <p>「役に立つ喜びを感じ、周りの人を大切にしようとする」</p>

6	思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる	「様々な素材を使い、イメージをもって製作に取り組む」 「物の特性や仕組みについて考えたり予想したりして遊ぶ」 「友達と生活する中で、様々な考え方や方法を知り、自分なりに考えて行動する」
7	自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な現象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にしたい気持ちをもって関わるようになる	「自然の中で遊ぶことで季節の変化や事象に気がつき、感じたことを友達や保育者と共有しようとする」 「生き物のお世話や植物の栽培を通して命があることを知り、愛着をもって大切にしようとする」
8	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる	「ゲーム遊びやルールがある遊びで数字や文字に親しみ、使ってみようとする」 「課外活動に参加し、標識や文字に関心をもち、役割や意味を知ろうとする」 「友達や保育者とのやりとりの中で、物の数を数えたり文字を使ったりする」
9	言葉による伝え合い	保育者等や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる	「遊びの中で思ったこと、イメージしたことを言葉で伝え合う楽しさや喜びを感じる」 「絵本やお話を通して新しい言葉や表現に関心を持ち、使ってみようとする」 「保育者や友達の話を知ろうとし、考えや気持ちを伝え合うことを楽しむ」
10	豊かな感性と表現	豊かな感性と表現心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を持つようになる	「歌や劇を楽しみ、自由に表現する喜びを味わう」 「作ったり描いたりしながらイメージをふくらませて遊びこむ」 「身の回りの美しいものに気がつき、感じたことを自分なりに表現しようとする」